

レーザー機本体

最大加工範囲 最大材料厚み レーザー発振器 レーザー出力 標準機能

動作モード

制御ソフト

メモリバッファ

駆動モータ

X軸ベアリング

安全性

駆動ベルト

駆動解像度

位置分解能

本体重量

雷源

インターフェイス

本体サイズ(mm)

強制排気ブロワー

FUSION Edge12

610×305mm 178mm Co2またはファイバー(30W) 30、40、50、60 W

FUSION Edge24

610×610mm 254mm 空冷式金属封入型Co2 30、40、50、60、80W

FUSION Edge36

914 x 610mm 254mm 空冷式金属封入型Co2 50、60、80 W

外部配管されるアシストエアコンプレッサの自動開閉バルブ 配置素材を読み込み彫刻位置の確認ができるオーバーヘッドカメラ

排気ポート 12/24サイズには102 mmの排気ポート400CFM 36サイズには2つの102 mm排気ポートで合計800CFM

真空テーブルポート テーブルを通る専用排気用の102 mm追加ポート

各種加工に最適化されたラスター、ベクター、および結合モード
Epilog Laser Software Suite: レーザーダッシュボードおよびEpilog Job Manager
最大1 GBの複数のファイル。任意のファイルを選択リピートできます

連続ループ型ロータリーエンコーダ搭載の高速ブラシレスDCサーボモータステンレス研磨ガイドにテフロンコート自己潤滑ベアリングをデュアル配置クラス2レーザー製品-1 mW CW最大600 - 700 nm

高精度Bスタイルケブラーベルト 75~1200 dpiからユーザー設定 0.001単位のコンピューター制御

10Base-Tイーサネット、USB、またはワイヤレス接続。Windows 7/8/10互換

1003 x 673 x 455mm 63kg

1055 x 834 x 967mm 102kg 1359 x 834 x 967mm 117ka

3D彫刻用ソフトウェア

単相120Vまたは240ボルト、50または60 Hz (国内電源は基盤保護のため昇圧する必要があります)

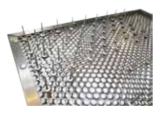
オプション機器

活性炭脱臭ボックス

活性炭入り脱臭集塵装置



樹脂や木材を加工する際に発生する煙と塵埃は機内に滞留しないように 静圧ブロワーで吸い出す必要があります。排気を屋内などに出す場合は さらにフィルターと活性炭によって脱臭することで作業環境を改善します。 レーザー本体の大きさと仕事量に応じて各種サイズが用意されています。 カッティング用ピンテーブル



アクリル樹脂などを切り抜いたエッジに残る ハニカムの目痕が気になる場合は写真の様 なオールステンレス製のピンテーブルをご 用意しております。 ワークサイズに応じて必要なサイズをお申し PREMIUM SERRY FAGES 7

三次元CADやCGで作ったモデルおよび3Dスキャナで取り込んだ3Dデータは、高低差をグレースケールの濃淡に変換してレーザーに出力できる彫刻ソフトの極楽彫Premium10が大変便利です。 従来の彫刻機と併用することもできるので、複合加工で高付加価値の製品作りに成力を発揮します。

ショウルームのご案内 営業時間 9:30~17:30(土日祝日を除く)

■東京ショウルーム

JR山手線 神田駅南口 歩7分 日比谷線小伝馬町駅 歩4分 JR総武本線 新日本橋駅 歩5分

東京都千代田区岩本町1-2-9 TLビル 03-3851-4048 FAX03-3851-4037

メールでのお問い合わせ、資料請求は info@tecnologic.co.jp

価格表のダウンロード、動画の再生は http://www.tecnologic.co.jp



付けください。

■広島ショウルームJR広島駅 歩10分



広島市南区松川町3-29 珠宝ビル 082-262-1931 FAX082-263-0968





株式会社デフノロシック

FusionEdge

EpilogLaser

12/24/36

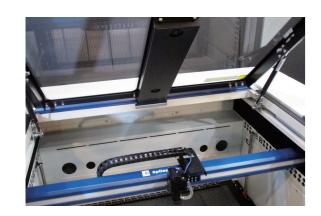
MADE IN USA

一番お奨めの最新ミドルレンジモデル

位置決め用全面撮像カメラを標準で搭載



位置決め用撮像カメラ



本体力バーに取り付けられたオーバーヘッド カメラは、広角レンズでテーブル全面を隅々 まで確実に捉えます。

撮影画像はリアルタイムで本体からパソコンのジョブマネージャに転送されます。

画像取り込みで位置決め編集



ジョブマネージャでは画面上の撮影画像から 材料面に彫刻データを投影して確認しながら 加工位置を正確に調整することが出来ます。 これにより端材の切り残し部位を有効に利用 したり、印刷の位置合わせが容易になります。

自社開発のメタル封入発振管



EPILOGが独自に開発し、自社工場で製造、補修完成検査まで行っているオールメタルの発振管は、クイック励起制御の基盤回路を搭載しながら低いランニングコストと高いビーム品質を実現して、ガラス封入発振管とは比較にならない程の長寿命を特長としています。

ジョブマネージャー



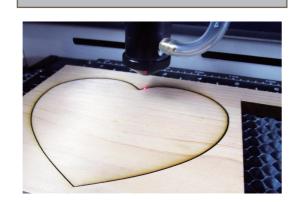
加工領域の画像は超広角で撮影されますが 遠近のたわみや歪みまで正確に補正してアートワークに提供するため、目視に影響を与えま せん。従来のドライバ直結式からは格段に作業 性を向上させたジョブマネージャが、生産効率 と失敗のない確実性を高めます。

専用設計のタッチパネルスイッチ



ジョブの選択、レーザーの自動焦点合わせなどの操作を直感的に行えるタッチパネルは、スクリーン上のボタンをスマホのように指で軽く触れるだけで選択と実行が的確に行えます。

アシストエアとコーンノーズ



エアアシストは、切断面から熱と引火性のガスを取り除き、よりきれいな切断を実現します。 本体に配管されて自動開閉制御されるコンプレッサから伝わった圧縮空気が、コーンノーズを通して加工面に正確かつ垂直に噴射されるため、仕上がりの良さは格段に向上します。

5G アクセラレータで高速彫刻



Fusion Edgeは最高120 IPSのXY制御と5Gの加速度を組み合わせる事で、圧倒的な彫刻速度を実現しています。その結果は広い範囲の加工を行う時にこそ時間差となってはっきり現れます。

XY 軸に固有の制御軸を採用



X軸にダブルブロック構造のリニアガイド、Y軸に強化リニアブッシュを採用することで、軽量ヘッドには避けられない「ぐらつき」や「遊び」を徹底的に排除しています。

樹脂製のベアリング等を採用した場合におこる 頻繁な部品交換も必要とせず、長期間の剛性と 完璧な振動抑制を実現しています。

手軽で簡単なロータリーユニット



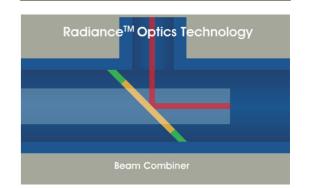
リムスタイルの回転アタッチメントは、ボトル、グラス、懐中電灯、またはその他の円筒形の素材に全周彫刻するオプションユニットです。このロータリーユニットは、ゴムローラーの上に製品を配置して、アジャスタハンドルで傾斜を調整することで彫刻領域を水平にし、まるで平面に彫刻するのと同じくらいの要領で簡単な彫刻を実現してくれます。

駆動系をヤニから守る密閉構造



X軸アームの両サイドは蛇腹型のカバーでシールドし、アームの内面には素早い往復動作に連動するベルトタイプのカバーを装備して駆動系に煙が回り込むのを遮断しています。ヘッド部分も完全にカバーされたレンズアッセンブリ構造を持ち、マシンの駆動系と光学系は高いレベルで安定性を維持しています。

Radience® 光学系補正強化機能



レーザービームの真円度を高め、直進性と 到達度を高めるエピログ独自の光学補正 技術は、テーブル全体の仕上がりが均一に なることを追求して生まれたものです。

正確な回転彫刻には三つ爪チャック



三つ爪チャックのロータリーユニットは、筒状の素材だけでなく非円筒形の小さな素材などでも機械的にしっかり固定出来ます。

彫刻で正確に位置決めする必要がある場合には 最適なオプションです。